

社団法人日本発達障害福祉連盟 2010（平成 22）年度事業計画

I 国際交流事業

1. 開発途上国支援事業

- 1) 第 1（通算 31）回地域住民による知的障害支援コースの実施（国際協力機構委託事業）

7カ国（ウルグアイ、ガイアナ、ジャマイカ、マレーシア、モロッコ、フィリピン、パプアニューギニア）から 7名を招き、日本およびカンボジアにおいて研修を行う。

研修期間 6月14日～8月6日（国内6週間、カンボジア2週間）

- 2) 地域住民による知的障害支援コース・フォローアップ事業の実施

研修修了者間の交流および情報提供を目的にホーム・ページとメーリングリストを運営。

- 3) ①カンボジア国カンボンスプー、カンボンチュアン、プレイベン、プルサット県 42村における地域住民（知的障害児者）を含む活動支援（カンボジア大使館補助事業）

②上記の内 17村での知的障害者（および村民）の収入創出事業運営～カンボジアで初めての食用油（ひまわり油）の製造～（トヨタ財団補助事業）

- 4) アゼルバイジャンにおける「地域開発と障害者支援事業」への P.ディレクター派遣（NPO法人ワールド・ビジョン事業）

2. 国際交流

- 1) アジア知的障害連盟理事会参加

内容：第 20 回味知的障害会議準備 8月21日～23日

II 関係団体の連携事業

1. 発達障害白書の 2011 年版の編集

「子ども・親・家族のメンタルヘルス いま、必要な心のケアは何か？」をテーマに編集し、日本文化科学社より出版する。

2. 関係団体によるラウンドテーブル会議の開催

関係諸団体および関係省庁間の意思疎通を目的としたラウンドテーブル会議を年に 1～2 回実施する。

3. JLニュースの発行

隔月（76～81号）および号外4号を発行し、関係団体（者）に配布する。

A 4 版 12 頁 4,000 部

4. 福祉月間の実施

第 47 回福祉月間を「子ども・親・家族のメンタルヘルス いま、必要な心のケアは何か？」をテーマに 9 月に実施する。

5. ホーム・ページを運営し、情報の発信に努める。

Ⅲ 研究・啓発事業

1. 発達障害医学セミナーの開催

200 名の定員で東京にて開催する。

テーマ：発達障害者の精神病

日程及び会場は未定

2. 発達障害自閉症セミナーの開催

200 名の定員で東京にて開催する。

テーマ：自閉症児者への教育・福祉の質を高めるために～最新研究の応用と効果的名人材育成～

日程及び会場は未定

3. 知的障害者が犯罪被疑者になった時の対応マニュアル（仮題）の作成・配布

4. 資料の作成・提供

1) 小冊子、書籍等の作成・提供

本年度新規作成

知的障害の定義日本語版(23 年発行)

知的障害医学の進歩 22

障害児の親のメンタルヘルス

退行・マニュアル

発達障害児の虐待 (DVD)

2) 推薦図書

思春期の発達障害者支援 (DVD)

自閉症スペクトラムの教育支援・就労支援 (DVD)

IV その他の事業

1. 組織の運営・強化

- 1) 公益法人認定を申請する
- 2) 正会員の拡大
- 3) 準会員の拡大
- 4) 賛助会員の拡大
- 5) 寄付金獲得
- 6) 総会・理事会の開催
- 7) 各種委員会の開催 () 内は委員長 【敬称略・順不同】
 - 企画委員会一会員拡大、広報、福祉月間、出版など一 (湯汲英史)
 - 発達障害白書編集委員会 (湯汲英史)
 - 地域住民による知的障害者支援コース企画委員会 (沼田千好子)
 - アジア知的障害会議委員会 (谷口奈保子)